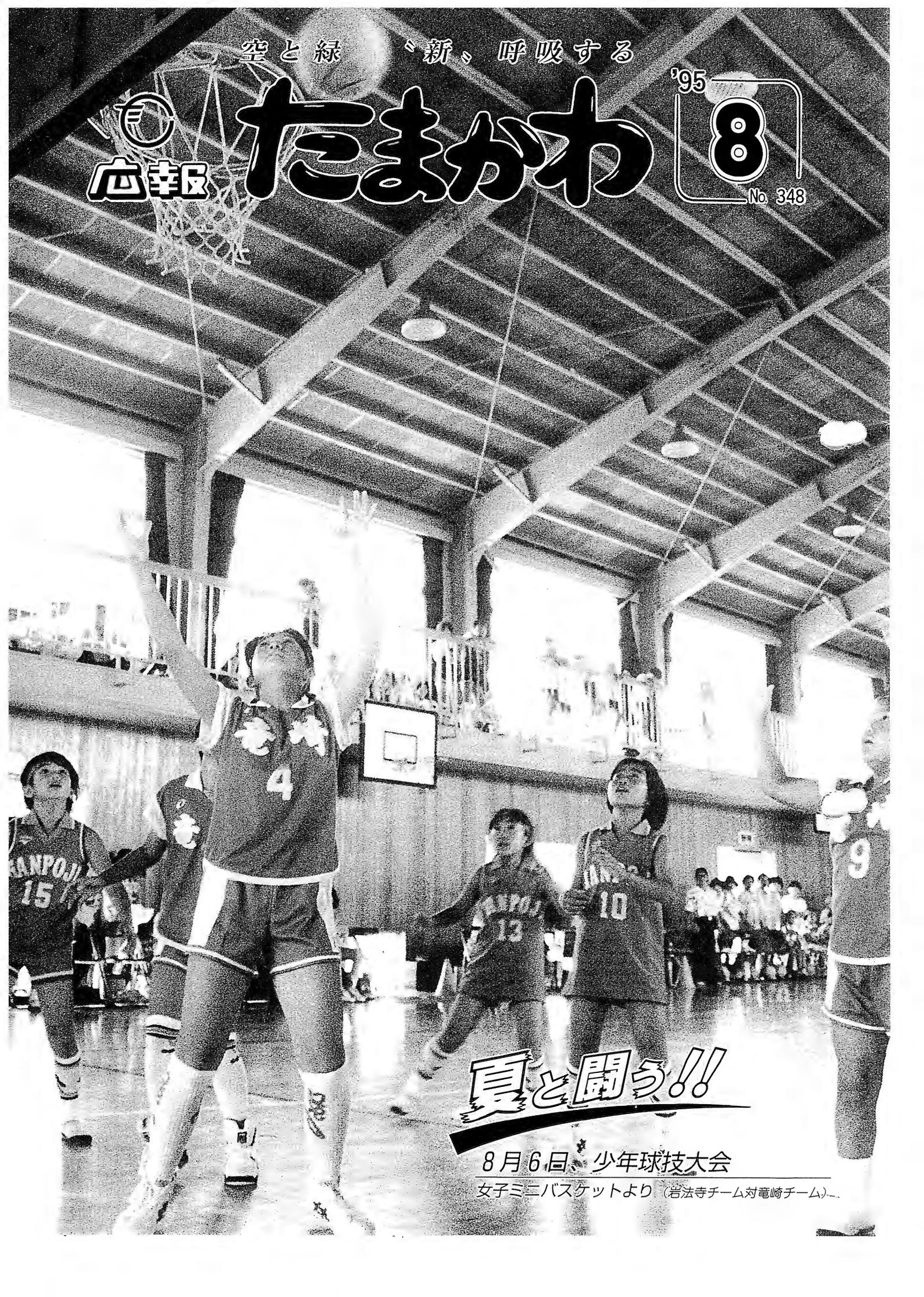


空と緑、新、呼吸する

心報

たまがわ

'95
8
No. 348



夏と闘う!!

8月6日、少年球技大会

女子ミニバスケットより (岩法寺チーム対竜崎チーム)...



あいさつをする熊田藤作会長

平成7年度

東京玉川会

総会

福祉事業を 継 続

総会は幹事の増子薫さんの進行で進められました。大木吉孝副会長の開会のことばに続いて熊田藤作会長があいさつ。6年度の事業を振り返って、会員の方々の協力へのお礼や会員相互の融和がますます深まってきていることなどについて、ユーモアを交えながら話され会場は和やかな雰囲気になりました。

議事に入り、幹事の宇田川七郎さんが議長となって進められました。事務局である村企画調整課の角田文弥課長より平成6年度の事業や決算の報告と、平成7年度の事業計画や予算が提案説明され、満場一致で承認されました。なお、昨年度に実施されたふるさと寝たきりの老人の方々へ紙おむつを贈呈する「ふるさと福祉事業」を本年度も実施することが決まり、昨年と同じく年会費を納めるときに募金活動を行うことになりました。

ふる里玉川に 酔いしれる

総会終了後、村からの参加者が紹介され、待ちにまつた懇親

会では、会の顧問、宗形誠さんの音頭で「乾杯！」のとたんにあちこちで玉川弁が飛び交い、会場一杯に歓喜の輪が広がりました。アトラクションとしてビンゴゲームが行われ、熊田会長の絵や鬼怒川温泉ペアで一泊の旅券など豪華な賞品が当たるとあって、全員表情も真剣。

また、玉川村出身のプロ歌手大和田玄太（吉）さんが制作した、村のイメージソングのテープを流し会員の皆さんに聴いていただきました。

友人や知人同志で写真を撮る光景があちこちで見られ、カラオケでは次から次と歌が飛び出し、会員の皆さんは一年振りの「ふるさと玉川」に酔いしれながら楽しい一日を過ごしました。

平成7年度の東京玉川会総会が、7月23日（日）正午から東京都文京区の新装なった名渓会館で開かれました。8回目を迎えた今年の総会には89人（会員69人、村から20人）が参加。総会後の懇親会では久しぶりに会う「友」と、ふるさと談義に花を咲かせていました。

新入会員です よろしくお願ひします

（敬称略）

第1支部
白旗 正幸（川越市）
永林 与一（戸田市）

第2支部
有賀 正男（川崎市）
伊豆 一子（相模原市）
遠藤 二代（横浜市）
第5支部
守永 エイ（日野市）



会の顧問、宗形誠さんの音頭で乾杯！



久しぶりの再会、楽しそうですね



「そろった？」ビンゴゲームで盛り上がる会場



さすが矢吹さん。カラオケも流石！



竜崎とらして記念写真！



村長を囲んで記念写真



「一本締め」……ハイヨーッ！！



「元気でねー！また来年会いましょう！」うちわを振って見送る会員の皆さん

新会員の紹介



いつでも 会員になれます！

東京玉川会では、会員を募集中です。会は都内や埼玉、神奈川、千葉などの東京近郊に住んでいる方々で組織し、会員の親睦とふるさととの交流が目的です。行事として年1回の総会並びに懇親会と「広報たまかわ」の送付を行っています。年会費は1人2,000円です。(1世帯も同額)ご家族やご親戚の方、知人の方で、入会希望される方がいらっしゃいましたら、当会の事務局、役場企画調整課 ☎0247-57-3101 までお知らせ下さい。



伊豆一子さん
竜崎出身
【相模原市在住】

「会に入ったきっかけは車田悦子さん（小高出身）に勧められてよ。なつかしい顔がたくさん見れてほんとに楽しいわ。ふるさと？ そうね、私、観音山に咲く草花が好きだったの。田舎に帰るたびに観音山とか乙字ヶ滝に行ってたけど、大好きな観音山が空港でなくなってしまったのは残念ね。これ以上変わってほしくないですね。空港のある古里もいいけど、素朴さも残してほしいと思います。それに最近、村に花がいっぱい咲いてるみたいでしょ。帰るたびに心がなごむわ。」



有賀正男さん
吉出身【川崎市在住】

「同級生に勧められて入会したんだけど、初めて会っても話せば分かる人ばかりで、同郷の集まりってほんとにいいよ。ふるさと？ 故郷の発展や出来事を気にしないわけではないですよ。空港もあんな所に建設されるとは思わなかったよ。もう村じゃなく町になってもいいんじゃないかな。玉川町にするべきだよ。故郷を出て45年過ぎたけど、私も今までは古里との交流、親睦があんまりなかったわけですよ。ほんとに懐かしいですね。これから玉川会の充実した発展につくっていききたいですね。」

ふる里が好き
育ててくれた
むらが好き！



遠藤クニ代さん
北須釜出身【横浜市在住】

「前から入会は勧められていたのよ。村もほんとに変わったわね。新しくなったっていうか、きれいになったでしょ。しょっちゅう田舎に帰ってるけど、特に道路、ほら、空港へゆく道路なんかすばらしいですね。34年がたったけど、主人も石川町出身なので、いずれ定年になったらUターンしたいと思っています。だから、住宅の情報とか知りたいわ。要望？ そうね。やっぱり住宅かな。整備してほしいですね、住宅を。ぜひ福島へ帰りたいので。」



守永エイさん
竜崎出身【日野市在住】

「入会したきっかけ？ 私こんど日野市に引っ越したんですけど、近所の諸根貞子さん（小高出身）の紹介で入ったんです。楽しいです。ふるさとですか？ 長い間帰ってなくて去年帰ったんですけど、隣の人も分からないし、道も分かんなくて、浦島太郎みたいでした。でもやっぱり田舎は住みよいと思います。私、一級ボイラー士の資格取ったんです。村にはそんな資格を生かせるような所ある？ あつたら即帰って、やりたいですよ。」

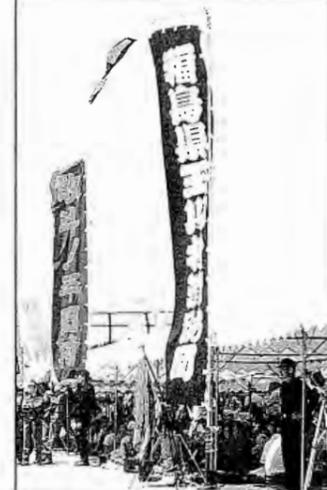


(得意のノドを披露してくれた永林さん)

永林与市さん
中出身【戸田市在住】

消防

第41回福島県消防操法競技会 石川支部大会

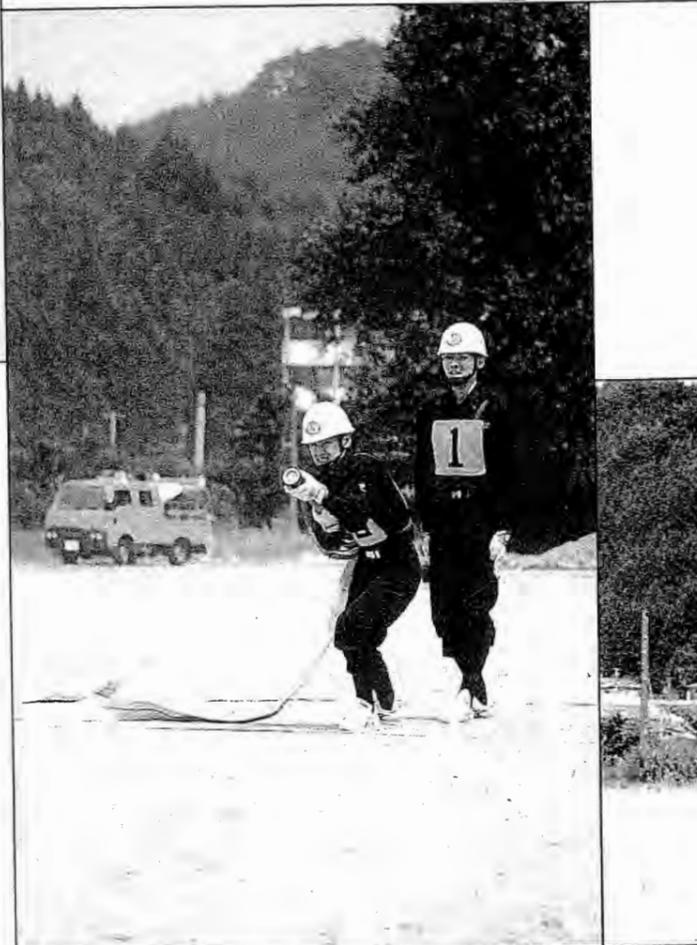


竜崎分団チーム
のみなさん
(敬称略)



猛暑の中、訓練の 成果競い合う

第41回福島県消防操法競技会石川支部大会が、7月30日(日)石川町民グラウンドで開かれました。石川管内5町村の消防団から10チーム(ポンプ車の部5チーム、小型ポンプの部5チーム)が出場。本村からはポンプ車の部に竜崎分団、小型ポンプの部に岩法寺分団が出場し練習の成果を競い合いました。当日は朝から真夏の太陽が照りつける猛暑となりましたが、各チームとも地元応援団の熱い声援を受けながら、テキパキとした動きでポンプやホースを取り扱い、気合いの入った見事な消防操法を見せてくれました。玉川村チームは、小型ポンプの部で岩法寺分団が見事優勝、ポンプ車の部に出場した竜崎分団はわずかの差で入賞はなりませんでしたが、長く厳しい訓練を乗り越え力の限りがんばった選手皆さんに、大きな拍手を送りたいと思います。優勝した岩法寺分団は、来る8月25日、平田村で開かれる県大会に出場します。



補充員 小林春矢、4番員 小林竜也、3番員 上野文彦、2番員 小林伸一、1番員 鈴木広和、指揮者 小林正晴

夏と闘う!!

岩法寺分団、小型ポンプの部優勝
竜崎分団、ポンプ車の部
惜しくも入賞ならず



県中大会に向け闘志を燃やす

- 岩法寺分団
チーム
(敬称略)
- 指揮者 大竹健二
 - 一番員 佐久間福男
 - 二番員 石森 栄
 - 三番員 石森 吉男
 - 補充員 小林和良

募集 須賀川地方広域消防本部 消防職員募集!

平成8年度須賀川地方広域消防組合消防職員(高校卒程度)採用候補者試験を次により行います。受験希望の方は8月31日(木)までに須賀川地方広域消防本部へお申し込みください。

□職種と採用予定人員
●消防職 若干名

□受験資格 昭和45年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた男性

- 身長 おおむね160cm以上
- 胸囲 身長のおおむねを以上
- 視力 両眼とも裸眼視力0.3以上または裸眼視力0.1以上で矯正視力1.0以上
- 色覚 聴力 正常であること

□第1次試験 教養試験 性格検査と作文も同時に実施

□試験期日

- 第1次試験 9月17日(日)
- 第2次試験 11月上旬予定(1次試験合格者のみ)

受験手続きなど詳しくは、消防本部総務課☎0248-76-3111(内線205)までお問い合わせください。

7月
19日

円谷信男氏 玉川村助役離任式



任期満了により退任する村助役、円谷信男氏(67歳)の離任式が、村就業改善センターで行われました。式では、村職員の後昭和61年1月より村助役に就任し、その後現村長のもと、2期8年間助役を務め、47年間にわたり村政の伸展につくされた功績に対し、車田村長から感謝状が贈られました。

長い間、
ご苦労さまでした!!



職員に見送られて玉川村役場を後にする、円谷信男氏

退任にあたり一言ごあいさつを申し上げます。
去る7月19日をもち任期満了により玉川村助役の職を退任いたしました。昭和62年7月から2期8年間にわたり、車田村長の補佐役として「明るく、豊かで住みよい」村づくりのため一杯の努力を重ねてまいりました。この間、村民の皆様のおかげで御支援とご協力を賜り、職務を全うすることができました。こと謹んで厚く御礼を申し上げます。
かえりみますと、昭和23年泉村役場職員として奉職以来47年間、合併による玉川村の誕生、中学校全校の新築、水道給水開始、中華民国鹿谷郷との友好都市締結、東京玉川会設立、福島空港の開港、公営住宅の建設、ふるさと創生事業など多くの事業に参画できまして、誇りに思うとともに、自分の人生で最高の日々でもありました。
今年には玉川村が発足して40年、また戦後50年でもありこの意義ある年に退任することは、まことに感無量のものがあり、生涯に残るものであります。
玉川村の益々のご発展と村民の皆様方のご健勝そしてご多幸を心からお祈り申し上げます。退任のあいさつといたしました。ありがとうございます。

退任のあいさつ

平成7年(第29回)

村民登山

東吾妻



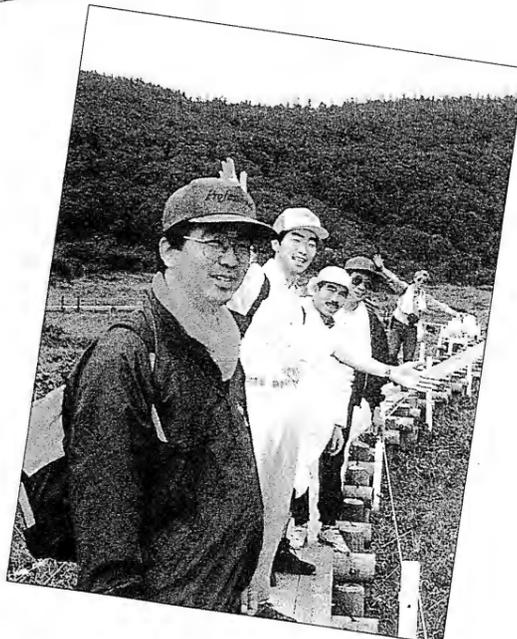
夏山を満喫!!

村公民館主催の第29回村民登山会が7月9日(日)に行われ、参加した百人は夏山登山を心ゆくまで満喫しました。参加者たちは鳥子平から東吾妻山頂、姥か原を経て浄土平へと歩くコースで、吾妻連峰の雄大な自然のながめ、高山植物を楽しみ、夏山の魅力を十分に堪能しました。

標高1,974mの東吾妻山頂で記念写真



湿原に咲いた傘の花?



ミスター東吾妻山です!

検診

大腸がん検診 お知らせ

大腸がん検査は、とても簡単な検査です。下図のように検査するだけで、大腸がんを早期に発見することができます。



申込み方法：検診を希望される方は、各地区の保健協力員または役場保健課、須釜支所で、8月28日(月)までに容器をお受けとってください。
容器(検体)回収日：8月30日(水)～8月31日(木)

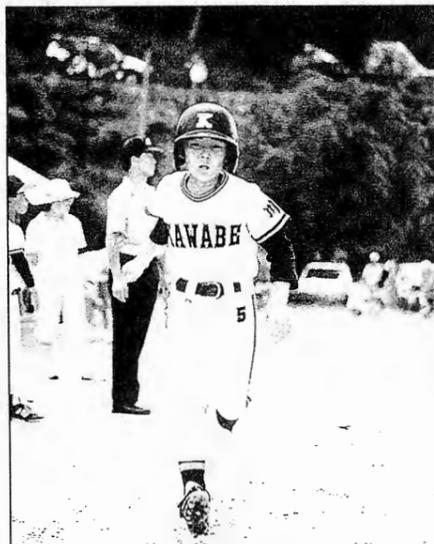
骨粗しょう症 検診実施

骨粗しょう症とは、私たちのからだを支える骨の量が減って、スカスカになる病気です。この病気になると骨が曲がったり折れやすくなります。50歳を過ぎた女性に多い病気です。

骨粗しょう症検診を次により実施しますので、希望される方は役場保健課まで申込んでください。

検診日	平成7年9月7日(木)	
会場	就業改善センター	須釜公民館
受付時間	午前10時～10時30分	午後1時30分～2時
対象者	①18歳～39歳までの女性……………40人 ②40歳以上の女性……………10人	
人数	合計50人 (いずれも先着順となります)	
申込み切	平成7年8月31日(木)	

詳しくは役場保健課までお問い合わせを



第24回玉川村少年球技大会が須釜小学校と村勤労者体育センターを会場に行われました。

大会には各行政区から男子のソフトボールに10チーム(蒜生を除く)女子のミニバスケットボールに10チーム(四辻区を除く)310人の選手が出場。児童らは真夏の太陽が照りつける猛暑のなか、父母らの声援を受けながら熱戦を展開し、ソフトボールは川辺が2年連続の優勝、ミニバスケットボールは中が優勝しました。

この大会は、村青少年育成村民会議が主催し、毎年開かれています。入賞チームは次のとおりです。

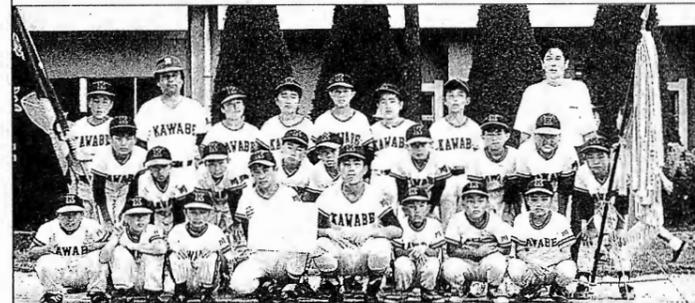
■ソフトボール
優勝 川辺 準優勝 岩法寺
第三位 南須釜・北須釜

■ミニバスケットボール
優勝 中 準優勝 川辺
第三位 岩法寺・北須釜

第24回玉川村少年球技大会

8/6

ソフト 川辺がV2、中は2年振りV!!



ソフトボール優勝の川辺チーム



ミニバスケットボール優勝の中チーム



「まんが版 たまかわ総集編」発行!! 村内全戸に配布

村に伝わる民話や伝説、歴史などを漫画で紹介する「まんが版たまかわ・総集編」が発行され、村内全戸に配布しました。

村の代表的な民話「井戸堀り五平」をはじめ、36話を86ページにわたって掲載。漫画は漫画家のイシグロカオルさんが担当し、監修は村郷土史研究会の岩谷浩光会長が行いました。この漫画冊子は、村を取り組んでいる「民話が息づく村づくり事業」井戸堀り五平の村「たまかわ」の一環として村が発行したものです。

ふるさとの環境美しく

7/30

南須釜、子供とお年寄りが奉仕

ふるさとのシンボルである大寺城跡や都々古別神社をきれいにしようと、村青少年育成村民会議南須釜地区推進協議会(真野目喜正会長)では、夏休み中の子どもたちや地区のお年寄りらによる清掃作業を行いました。雑草刈りやごみ拾いで汗を流した後は会食、レクリエーション大会も行われ参加した70人は楽しいひと時を過ごしました。



清掃奉仕に汗を流す参加者

村の産品を「ふくしまの顔に」!!

“ふくしまブランド・うつくしま物語”
——主張/交流大会——



郡山市のホテルハマツで「ふくしまブランド・うつくしま物語、主張交流大会」が開かれ、村内から四辻サルナシ生産組合(さるなしワイン)玉川酒販店会(五平の酒)民芸工房れんげ(南須釜の念仏踊り人形)の3団体が参加しました。

会場では参加した53市町村の産品(106品目)が展示・販売され、大勢の人たちが「ふくしまの顔」を味わったり、買い求めていました。

JAL帯広便が就航!

10月11日まで週4往復

季節運航の初便セレモニー

7/22



福島空港出発ロビーで行われたテープカット

日本航空の季節運航路線、福島―帯広便の運行が開始され、空港ターミナルで出発セレモニーが行われました。

出発式では、日本航空の栗林貞一副社長が「念願の路線の就航が実現できた。JALの50路線目となる緑起の良い路線。両地域の発展に貢献していきたい」とあいさつ。山口県議会議長、高橋幹夫帯広市長の祝辞に続いて、乗客代表の桜井定夫さん(福島市)と有馬陽ちゃん(須賀川市)に記念品が贈られました。その後、車田村長らがテープカットし、就航を祝いました。

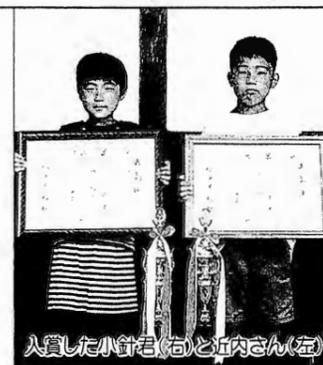
帯広便は10月11日(水)まで約3か月間の季節便で、月、水、木、土曜日の週4往復の運航となっております。270人乗りのボーイング767-300型機を使い、所要時間はおよそ1時間20分となっております。

なお、帯広便の就航期間中はJAL沖縄便が火、金、日曜日の週3往復となっております。

本村から2名入賞

第40回「たなばた展」表彰式

8/7



入賞した小針君(右)と近内さん(左)

第40回記念福島県学生書道コンクール「たなばた展」で本村から2人の児童が入賞、福島市の民報ビル・ロイヤルホールで表彰式が行われました。銀河賞以上の個人184人と最優秀賞と優秀賞の15校の代表が出席した表彰式では、主催者を代表して鈴木福島民報社専務が、「これからも文字を書くことを大切にしてほしい」とあいさつ。

このコンクールは福島民報社が主催。今回は40回目の記念展で県内49の中小高校から9万点以上の出品がありました。入賞は次のとおりです。(敬称略)

■銀河賞 小針 尚(玉一小・5年)・近内沙弥香(須釜小・3年) ●奨励賞 鈴木潤一(須釜小1年)



7月3日 県消防操法競技会石川支部大会より

8月9月の健康ごよみ

- 8月
 - 22日(火) ツベルクリン反応検査.....(保) 午後1時~1時30分 (受)
 - 23日(水) ツベルクリン反応検査.....(須公) 午後1時~1時15分 (受)
 - 24日(木) ツベルクリン判定・BCG接種.....(保) 午後1時~1時30分 (受)
 - 25日(金) ツベルクリン判定・BCG接種.....(須公) 午後1時~1時15分 (受)
- 9月
 - 8日(金) 乳幼児健康相談.....(保) 午前9時30分~10時 (受)
 - 乳児健診.....(保) 午後1時~1時30分 (受)
 - 13日(水) 機能訓練.....(保) 午後1時30分~3時30分 (受)

(保) : 保健センター
(須公) : 須釜公民館
(受) : 受付

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 小高の溝井安喜さんから 2万円
- 岩法寺の佐久間幸次さんから 2万円
- 南須釜の小山田武広さんから 3万円
- 東京玉川会の平沢ミサ子さんから 1万円
- の鈴木正賢さんから 1万円 (村社会福祉協議会)

伝言板

『夢コロンブス18』ふるさと開催!!

郡山地方18市町村の「自慢、が大集合。ぜひ見に来て下さい!」

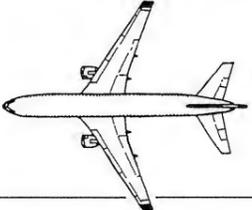
- 開催月日 平成7年9月10日(日)
- 開催場所 郡山市・開成山公園内
- 内容 「ふるさと自慢芸能フェスティバル」「ふるさと自慢テント村」「ふるさと自慢レストラン」

村からも「南須釜の念仏踊り」が出演します。

福島空港・空の目 記念行事!!

●開催月日 9月24日(日)
●開催場所 福島空港/ターミナル区域・空港公園

楽しいイベントをたくさん用意して、お待ちしております!



水道課の事務所を移転!!

役場本庁舎内2階にありました、水道課の事務所は、7月18日より、下記の場所に移転になりました。

役場北庁舎1階・東側

お誕生おめでとうございます

(7月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
小高	矢吹千尋	啓 策
竜崎	我妻和弥	憲 和
〃	松本涼輔	英 男
南須釜	大野司	忠 春
〃	寺島真希	正 三
〃	眞野目尚子	芳 雄
〃	吉村梨葉	博

おくやみ申し上げます

(7月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
小高	溝井ミツ	89	安 喜
岩法寺	佐久間君子	46	幸 一
南須釜	小山田武雄	69	武 雄

村のようす (7年7月1日現在)

戸数	1,768戸(+6)
人口	7,702人(+17)
世帯数	3,806人(+13)
人口	3,896人(+4)

今月の納税

納税種別	納税月	納税期
村民税	8月	2期分
国民健康保険税	8月	2期分
国民年金	8月	2期分

(納期限は8月25日(金)です。忘れずに納めましょう。)

玉川村短歌会佳作抄

吊り初めし軒の風鈴入梅の雨に濡れつつ鳴りひそめおり
幾条の線の光りをおどらせて青田を渡る六月の風
逝くならば母星のもとへと仰ぎみる空に瞬くその一つ星
わが病に再起はなきと思いに癒えて前途に見ゆる曙
秘境なる一軒宿をめぐりゆく闇の流れにかじかき鳴けり
幼な日は焚火のあかりで本を読み後ろに九九を語じし弟
寺の堰おさなき頃をなつかしむしぶきに遊ぶ夏の「カッパ」ら
散歩より帰れば朝刊展げつつ社会の記事にこころ遊ばす
曲山さくみ

村公民館

雇用保険

平成7年9月1日から雇用継続給付の支給が開始されます

■高齢雇用継続給付
5年以上の被保険者期間のある60歳以上65歳未満の被保険者で、60歳時点の賃金の85%未満で働いている場合に、最高で賃金の25%が支給されます。
4月1日現在、60歳以上65歳未満の被保険者は経過措置があります。

■育児休業給付
1歳未満の子を養育するため、育児休業する被保険者に、休業中は賃金の20%が、職場復帰6か月経過後に賃金の5%が休業した月数分支給されます。
4月1日現在、育児休業している被保険者は経過措置があります。
なお、支給を受けるためには、受給資格確認の手続きが必要です。
詳しいことは、ハローワーク(公共職業安定所)でお尋ねください。

中小企業

あなたの企業の時短を支援する

時短奨励金制度!

労働時間短縮支援センター福島県支部では、週40時間労働制が猶予されている労働者300人以下の中小企業の時短を応援するために、省力化投資等又は新たな雇入れを行い週所定労働時間を短縮した際に最高375万円の奨励金を支給しています。
時短に取り組む中小企業主さんは、積極的にご利用ください。

■支給額

常時雇用する労働者の数	1~30人	31~100人	101~300人
1時間以上2時間未満	25万円	75万円	150万円
2時間以上3時間未満	50万円	150万円	300万円
3時間以上4時間未満	75万円	200万円	375万円

(注)既に週40時間労働制が適用となっている金融業・通信業等や、特別措置の対象となっている労働者が9人以下の商業、映画・演劇業、保険衛生業及び接客娯楽業の事業場は支給対象になりませんのでご注意ください。

☆時短奨励金制度の詳細内容については、下記までお問い合わせください。
労働時間短縮支援センター福島県支部(福島県労働基準協会連合会内) 〒960 福島市大町4-4 東邦ビル5階 ☎0245(22)6717 FAX0245(22)6724

戦後50年

戦没者等遺族への

特別弔慰金支給

国では、戦後50周年にあたって、改めて戦没者などの遺族の方に、弔慰の意を表すため、次により特別弔慰金を支給します。

■支給方法 戦没者一人につき額面40万円の国債が支給され、平成8年から平成17年までの10年間に毎年4万円ずつ償還されます。

■支給条件 満州事変(昭和6年9月18日)以後の戦没者などの遺族の方で、平成7年4月1日現在公務扶助料、遺族年金などを受ける人がいない場合に限られます。

■対象者 主として次に記載された遺族のうち、次の順序に従って最も順位が先の方1人に支給されます。

- ①平成7年4月1日までに弔慰金(遺族国庫債権)の受給権を取得した方
- ②戦没者などの子
- ③戦没者などと生計をともにしていた父母、孫、祖父母、兄弟姉妹(婚姻、養子縁組により平成7年4月1日現在、戦没者の氏と違う氏に変わった方は除かれます)
- ④前の項目以外の父母、孫、祖父母、兄弟姉妹(戦没者と生活を別にしてきたか、氏が変わった方)
- ⑤これら以外の三親等内の親族(戦没者と1年以上生活を共にしていた方に限ります)

■請求期限 平成10年3月31日までです。それまでに請求しないと受給できなくなります。

■受付窓口 役場住民課

10月1日は、国勢調査。

10月1日、全国一斉に5年に1度の国勢調査が行われます。日本に住んでいるすべての人が対象です。ご協力をお願いします。

国勢調査

平成7年10月1日(日)
9月下旬から調査員がお伺いします。
総務庁統計局 福島県玉川村

税 災害と税

地震、火災、風水害などの災害によって、住宅や家財などに損害を受けた方は、被害額の程度によって、国税について次のような取り扱いが受けられます。

1. 所得税など税金の減額
2. 税金を納める期限の延長
3. 申告・申請などの提出期限の延長

詳しくは、最寄りの税務署か税務相談室にお尋ねください。



思い出のアルバム ②

「平和の鐘が砲弾に」

この写真は、川辺の金波山円通寺所蔵のもので、同寺の釣鐘が軍用に供出させられ、その出発式が円通寺境内で行われたときの写真で、太平洋戦争が激化した昭和17年ごろだそうです。

「この釣鐘は、川辺千手観音堂(円通寺の裏)のもので、当時戦争が激しくなるにつれ、神社仏閣の銅像や釣鐘、一般家庭の青銅製品もすべて軍用として供出させられた」と語る田子國夫さん。(69歳、川辺) 国のためにと日の丸を付けた釣鐘の後ろに写っている方々は、左端が円通寺第23世の故語翁聖三氏。その右側は当時の泉村長だった故矢部欣治さん(川辺、欣一氏の祖父)で、釣鐘の真後ろは故円谷信之助さん(川辺、信男氏の父)その右側が故矢部昇三郎さん(川辺、玄信氏の祖父)だそうです。「川辺の八幡神社で万歳して泉郷駅から汽車に積んだ」と語る須藤利治さん(75歳、川辺)。

今年(2017年)は戦争が終って50年。戦争の体験と記憶を風化させることなく、次代に正しく伝えていきたいものです。

たまかわの皆さん お元気ですか

—東京玉川会員だより—

『今も昔も観音山は ふるさとのシンボル』

東京都練馬区 佐久間 正さん(岩法寺出身)



娘さんと二人で(ある冬の日の光ヶ丘にて)

玉川村の皆さん毎日暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

今年(2017年)は戦後50年。私も上京以来40年を過ぎました。光陰矢の如し、本当に早いものです。過ぎし日を振り返るとき、人生それぞれの思い出があるものです。なかでも少年時代を過ごした故郷はまた格別の所です。今でも生家を我が家と読んでいます。裏を返せば自分の未熟さからでしょうか。

広報たまかわ7月号を拝見させて頂きました。きれいな阿武隈川はプールのなかつた当時、夏の水泳ぎの場所でした。岩谷さん、感激です! 霊峰・観音山は私たちのシンボルでもあります。

先日7月23日の東京玉川会総会では楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

最後に玉川村の御発展と、皆様の御健康をお祈り申し上げます。